



油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

令和6年8月28日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第34週分・8月19日～8月25日)

《インフォメーション》

●結核

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、全国で毎年1万例を超える新規結核患者が報告されており(上図)、1,500例以上が亡くなっています。全国の新規患者数は減少傾向が続いていますが、欧米諸国と比べまだ高い状況です。富山県では2022年に65例の新規患者が報告されました。2023年には感染症発生動向調査の速報値で76例の患者報告があり、減少傾向は足踏み状態です。また、2024年は第34週までに48例の結核患者が報告されています。2022年の全国の新規患者年代分布では80歳以上が45%を占め、高齢者が多い状況です(下図)。また、20～30歳代の患者では外国生まれの方が多く特徴があります。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。結核を発病して排菌している人の咳などを介して空気感染しますが、感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。一方、感染者の1～2割は感染後6ヵ月～2年までに発病もしくは加齢などにより免疫力が低下した際に発病します。結核の初期症状は、咳、痰、発熱(微熱)などで風邪と同様の症状として見逃されがちですが、このような症状が2週間以上続く場合は結核を疑い受診しましょう。感染しても発病していなければ通院と服薬で通常の生活を続けられますが、発病してしまうと入院が必要となる場合があるため、早期発見、早期治療が重要です。なお、結核の治療費用は届け出をすることで、外国人や健康保険がない人でも公費負担で受けられます。

また、乳幼児の場合、抵抗力が弱く、感染すると重症化する可能性が高いため、乳幼児は定期接種対象年齢(推奨時期:生後5～8ヵ月未満)にBCGワクチンの接種を受けましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 3件 (①30歳代、女性 ②③共に70歳代、男性)

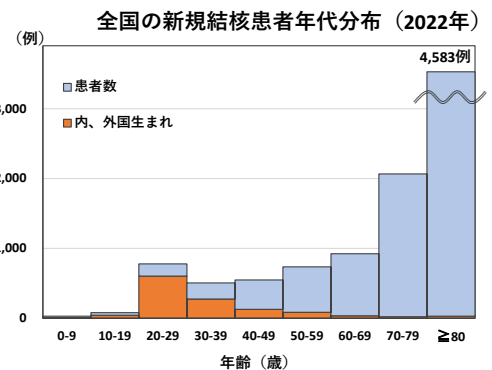
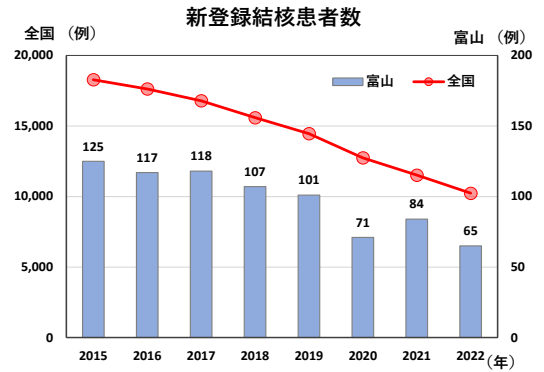
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①10歳代、女性、O157、VT2
②30歳代、女性、O157、VT2)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件 (①第33週診断分:70歳代、女性
②80歳代、男性)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (60歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	10.11 (↑)	8.86
2位	手足口病	5.66 (↓)	6.18
3位	感染性胃腸炎	2.52 (↑)	1.86
4位	マイコプラズマ肺炎	2.40 (↑)	1.00
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76 (↑)	1.07
6位	RSウイルス感染症	1.07 (↓)	1.68



出典:結核登録者情報調査年報集計結果について(厚労省)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第34週 令和6年8月19日～令和6年8月25日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	1		2			3	10	4	27	7	36	84	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1					1	6	3	14	5	20	48	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			2		2	4	3	4	13	
四類感染症	E型肝炎											1	1	
	ポツリヌス症											4	4	
	レジオネラ症							2	1	8	3	16	30	
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			1	2		4		8	14	
	急性脳炎									1		1	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3	1	9	14	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			3	1	3	7	
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
	水痘（入院例）							1	1				2	
	梅毒							2		5	5	11	23	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳											1	1	
	インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ	1	1	2			4	1,079	1,031	4,044	1,565	5,073	12,792
COVID-19		0.17	0.20	0.15			0.09	2,065	1,087	3,430	1,930	2,847	11,359	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	5	5	11	3	7	31	62	71	571	49	432	1,185	
	咽頭結膜熱	1.25	1.67	1.38	0.75	0.70	1.07	110	257	677	37	700	1,781	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		3		3	9	178	167	2,679	311	1,253	4,588	
	感染性胃腸炎	2		39	1	9	51	773	640	1,419	668	3,339	6,839	
	水痘	0.50		4.88	0.25	0.90	1.76	2	16	114	11	70	213	
	手足口病	5.00	2.00	1.75	0.25	3.20	2.52	89	314	1,584	389	1,556	3,932	
	伝染性紅斑		3	1		2	6	1		8	1	9	19	
	突発性発しん		1.00	0.13		0.20	0.21	9	13	101	28	92	243	
	ヘルパンギーナ	4	19	80	18	43	164	72	20	88	59	184	423	
	流行性耳下腺炎	1.00	6.33	10.00	4.50	4.30	5.66	3	1	5	2	7	18	
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
		流行性角結膜炎							8	1	30	5	9	53
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
		マイコプラズマ肺炎		1	8	1	2	12		5	21	3	6	35
感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1.00	8.00	1.00	2.00	2.40			1			1	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179	
	COVID-19による入院患者	22	6	27	7	17	79	187	139	165	211	501	1,203	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

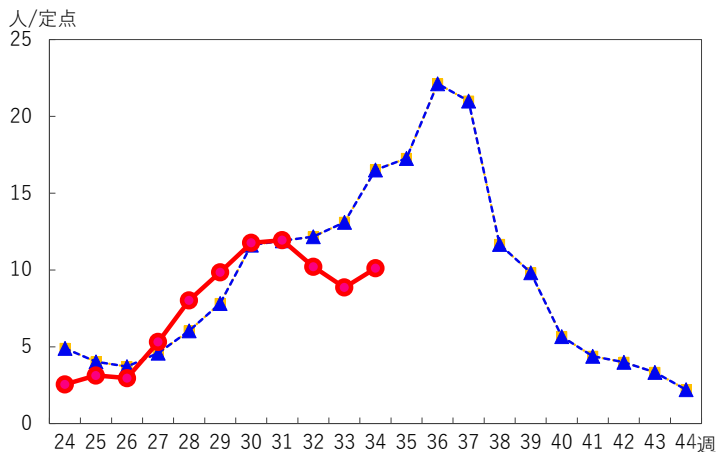
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第34週（8月19日（月）～8月25日（日））

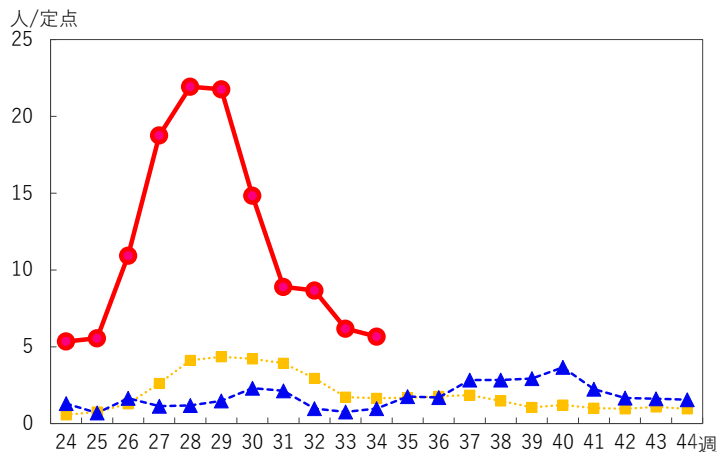
8月28日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

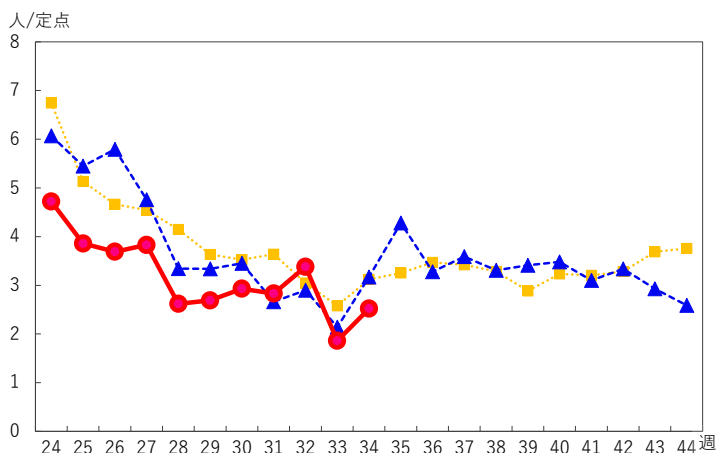
COVID-19



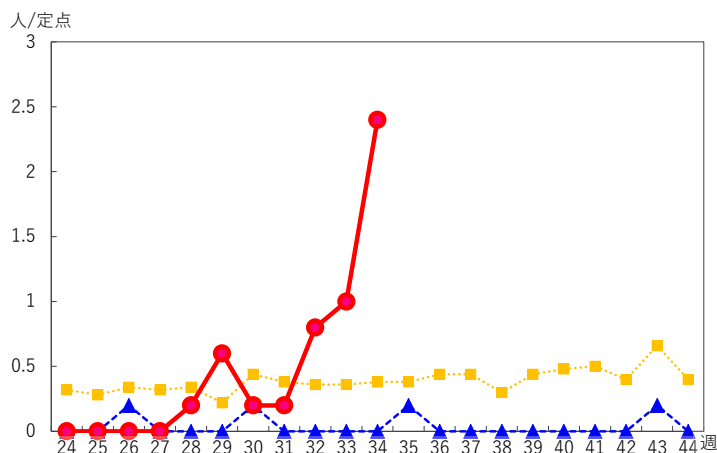
手足口病



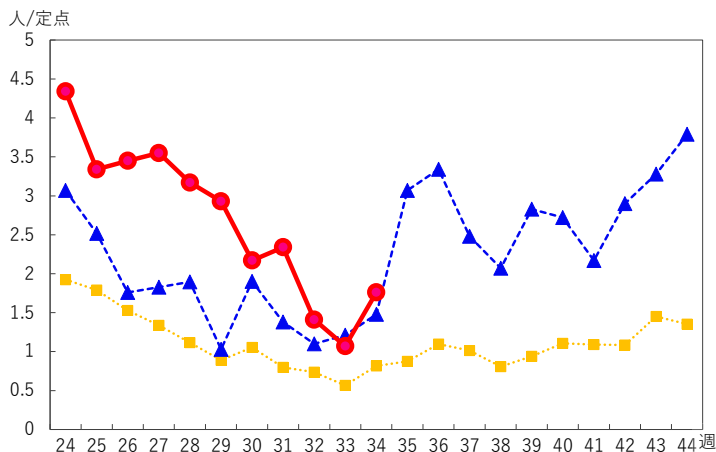
感染性胃腸炎



マイコプラズマ肺炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症

